

取組の成果と今後の方向性

◎総評

物部川地域では、物部川流域の豊かな自然を活かした25の地域アクションプランを推進している。

農業分野では、26年4月に移転オープンした直販所「なの市」、飲食店「なのカフェ」が、地元の農産物とそれらを活かしたメニューを提供しており、順調に売上を伸ばしている。また、多くの雇用の創出を図ることができた。

林業分野では、森の工場の整備面積が目標を達成するなど、素材の生産量は順調に伸びている。

商工業分野では、新たな動きとして、27年9月に香美市でチャレンジショップを開業することとしており、チャレンジャーの確保に取り組んでいく。

その他、食品加工分野では、シャモやトレフルッタなど、地域の素材を使った加工品が新たに誕生し、順調に売上を伸ばしている。

※地域アクションプランによる雇用の創出（H24～H26） 30人

◎各分野の取組の成果と今後の方向性

- 農業分野**
 主幹品目であるニラは、新規就農や既存農家の規模拡大策により、栽培面積が拡大した。今後は、新たな中長期産地ビジョンを策定し、生産額向上策を推進する。同じく主幹品目であるシントウは、実証試験や部会での推進により、土着天敵の導入農家が増加した。日本一の産地維持に向けて、環境制御技術等の導入及び担い手の確保育成を推進する。
- 林業分野**
 「森の工場」の整備済面積が拡大（H22：9,400ha → H26：19,255ha）し、素材の生産量が増加した。今後とも、「森の工場」による森林の集約化を進め、作業道の開設など基盤整備の推進による素材の増産を図る。
- 水産業分野**
 シイラの販路開拓が進み、取扱量及び取扱高ともに年々増加している。加工工場は、高知県食品高度衛生管理手法の施設認定を取得しており、今後は、県版HACCPの取得に向けたさらなる衛生管理の向上を目指す。
- 商工業分野**
 後継者育成に向けて、刃物事業者のもとへ県外から研修生の受入れを行った。今後とも、伝統工芸を継承する後継者の育成を図る。
- 観光分野**
 物部川流域3市及び高知市で組織する高知中央広域観光協議会を設立（H25）し、圏域一体となった情報発信や観光客の誘致活動を展開した。今後は、三宝山を観光拠点とするエリア整備の基本計画を策定し、近隣の観光資源とも連携した誘客活動を行い、入込客数の増を目指す。

主要な指標及び目標

項目	出発点 (2期計画策定時)	目標（H27）	直近値（H26）
園芸主幹品目販売額（ニラ、シントウ、エメラルドメロン）＜注1＞	H23：43.2億円	H27：45.6億円	H26：38.4億円
ユズ販売額	H23：4.3億円	H27：5.0億円	H26：4.3億円
素材生産量	H22：26,053㎡	H27：47,500㎡	H26：35,887㎡
シイラ加工事業の販売額	H22：257.1万円	H27：700万円	H26：1,600万円
観光客入込客数＜注2＞	H22：78.1万人（参考H21：72.1万人）	H27：80万人	H26：60.2万人

注1 ニラ、エメラルドメロンはJA土佐香美、シントウは南国市の3JAの取扱分
 注2 地域内の主要観光施設訪問者数と体験メニュー受け入れ人数の合計

主な支援策の活用状況

- 産業振興推進総合支援事業費補助金 6事業 120,331千円
- 観光拠点等整備事業費補助金 11事業 13,949千円
- (H24～26実績額、ただし、H27へ繰越したものは交付決定額を集計)
- 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業） 1件、延べ3回

●「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組【南国市】

ごめんケンカシャモ

＜企業組合ごめんシャモ研究会等＞

取組の内容

- ・孵卵施設の整備（H25）
- ・「シャモ鍋セット」、「シャモスキヤキセット」の開発・販売

今後の方向性

- ・高知農業高校との連携等による生産体制の強化
- ・新商品の開発、商談会出展等による販路開拓

主な成果

- ・南国市内シャモ提供店舗数 15店舗（H23）
→ 19店舗（H26）
- ・売上額 8,210千円（H23）
→ 22,638千円（H26）
- ・「H25 土佐の食1グランプリ」で「シャモスキヤキ」が優勝



●加工品販売による夜須地域の活性化【香南市】

夜須のトレフルッタ

＜協同組合やすらぎ市＞

取組の内容

- ・加工施設の整備（H25）
- ・ゴロゴロメロンパンなど地域の特産品を使った加工品の開発及び販売

主な成果

- ・加工品販売額 70,000千円（H22）
→ 96,001千円（H26）
- ・雇用の創出 4人（うち長期4人）

今後の方向性

- ・摘果メロンを使ったおばちゃん漬けなどの新商品の開発



●直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大【南国市】

「なの市」「なのカフェ」

＜JA長岡・(株)なの工房＞

取組の内容

- ・直販所「あけぼの市」を移転した「なの市」と新設の飲食店「なのカフェ」の開業（H26.4月）
- ・近隣観光施設と連携した集客イベント「あけぼの街道ひまわりフェスタ」の開催

今後の方向性

- ・隣接する「ながおか温泉」と連携した誘客活動の展開
- ・経費削減等による経営面の強化

主な成果

- ・直販所等の売上額 33,000千円（H22）
→ 171,804千円（H26）
- ・直販所等の雇用者数 3人（H22）→ 32人（H26）



●香美市ブランドの確立・特産品づくり【香美市】

ユズ製品・シカニク製品

＜香美市観光協会・食品加工グループ＞

取組の内容

- ・ユズ皮を使った新商品の開発（3アイテム）、販売（H25）
- ・鹿肉メニューや特産品の販売、PRIに向け、べふ峡温泉スプリングフェスタ（4月29日シカニクの日）を開催

今後の方向性

- ・「奥ものペブランド」の確立
- ・食品加工グループの後継者の育成

主な成果

- ・開発商品売上額 4,808千円（H22）
→ 9,854千円（H26）



●民有林における素材の増産【物部川地域全域】

森の工場

＜香美森林組合・物部森林組合等＞

取組の内容

- ・集約化団地の拡大
- ・素材生産量の増大

- ・森の工場の拡大
- ・素材の増産に向けての基盤整備

主な成果

- ・森の工場整備済面積 9,400ha（H22）
→ 19,255ha（H26）
- ・民有林からの木材生産量 26,053㎡（H22）
→ 35,887㎡（H26）



●「森の駅」を中心とした体験型観光の推進【香美市】

物部体験・龍河洞体験

＜香美市観光協会等＞

取組の内容

- ・龍河洞のインバウンド環境整備（案内用多言語アプリの開発）
- ・龍河洞クリスマスキャンドルナイトの開催
- ・飲食店連携による街バルイベント「香美バル」の開催

主な成果

- ・龍河洞クリスマスキャンドルナイト入洞者数 956人（H24）→ 1,416人（H26）
- ・体験プログラム 13プログラム（H23）
→ 23プログラム（H26）

今後の方向性

- ・新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備



●体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信【香南市】

海から山から体験観光

＜香南市観光協会等＞

取組の内容

- ・観光協会の一般社団法人化、旅行業第3種登録による旅行商品の造成・販売（長谷寺坐禅ツアー、第3回土佐塩の道トレイルランニングレースなどの催行）
- ・サンライズ・サンセットシーカヤックモニターツアーの開催

今後の方向性

- ・地域素材を使った旅行企画の開発と多様化

主な成果

- ・主催旅行の開催 9コース295名（H24）→ 15コース368名（H26）

